

平成23年度 附属学校研究支援経費 による研究成果概要報告書

報告者氏名・所属	阿部 光宏 北海道教育大学附属旭川小学校 主幹教諭
研究期間	平成23年8月 ～ 平成24年3月
プロジェクトの名称	iPadの小学校教育での有効な活用の在り方に関する実証的研究
プロジェクト担当者 (氏名・所属・職) ※代表者に○を付すこと	○阿部 光宏 (北海道教育大学附属旭川小学校 主幹教諭) 石川 憲一 (北海道教育大学附属旭川小学校 研究主任) 堀 智大 (北海道教育大学附属旭川小学校 教諭・PC管理部長)
成 果 の 概 要	
<p>本プロジェクトによる4台と合わせてiPadを計40台整備することができた。校内無線LANの整備により、一人一人の児童がiPadを単独で活用することはもとより、ネットワークを介して個の学習を全体で共有することができるようになった。</p> <p>平成24年6月21日、22日に開催した教育研究大会では、次のような教科・領域の公開授業において本プロジェクトの成果を発表・発信することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年算数～児童が考えたテープ図をiPadを使いリアルタイムでTV画面に映し共有化 ・3年理科～iPadを使って記録した太陽と影の動きを観察結果の話合いに活用 ・4年算数～複合図形の面積の簡単な求め方をiPadの図形移動を使って電子黒板に投影 ・5年道徳～児童が選択した道徳的価値をiPadの写真を使って共有化 ・5年外国語活動～児童が必要に応じてiPadを使った会話例(発音と口の動き)を活用 ・6年外国語活動～iPadを教室内の数か所に設置し児童が必要に応じて会話の仕方を活用 <p>機動性のあるiPadの活用により、「①児童と児童がかかわる道具として有効、②教員によるモニターへの提示に有効、③興味・関心、能力等に合わせた個別の学習に有効、④多様なアプリの活用が可能」などの効果があげられた。</p>	
成 果 の 公 表 の 状 況	
※NHK TV他、新聞・雑誌で報道	
教 育 現 場 で 活 用 可 能 な 分 野 等	
<p>研究大会で公開することができた上記のような活用に加え、国語のスピーチの学習では、それぞれの発表の様子をiPadを用いて撮影し、よさや改善点についてペアで話し合う学習に取り組んだ。体育の跳び箱やマット運動の学習でも自分の動きを客観的にとらえ、次の活動に生かす実践に取り組んでいる。音楽の器楽演奏のパート練習や、社会科での工場見学の様子撮影や働く人へのインタビューを交えたプレゼン作成など、今後の研究の継続により、活用可能な分野はますます広がると考えている。</p>	
配付可能な資料の有無	
ダウンロード可能なドキュメント	
問い合わせ先	責任者：阿部 光宏 電 話：0166 (52) 2361 FAX : 0166 (52) 2363 mail : asa-i_fusho@j.hokkyodai.ac.jp